

6155 高松機械工業 21/3 上期決算メモ 上期受注 68.0%減で受注残も激減しネガティブ

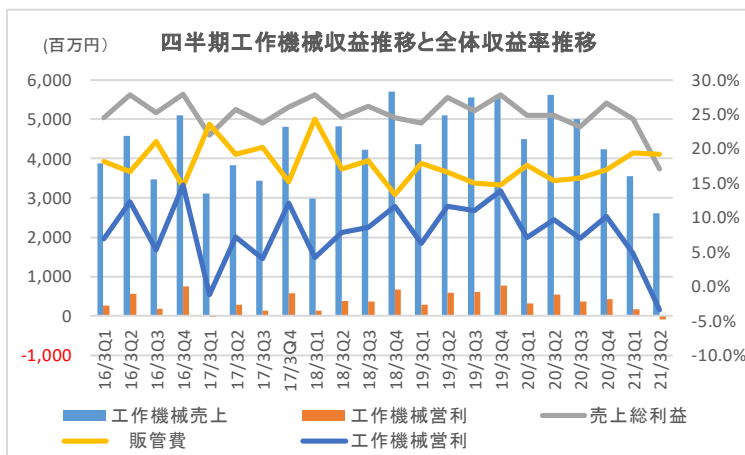
米中摩擦、コロナ直撃し上期受注 68.0%減で 21/3 期 43.5%減収、営業損失 7.12 億円予想
 株価 637 円 (10/30) 時価総額 70 億円 発行済株 11020 千株
 PER (21/3DO 予-X) PBR (0.45X) 配当 21/3 期 DO 予 10 円 配当利回り : 1.6%

要約

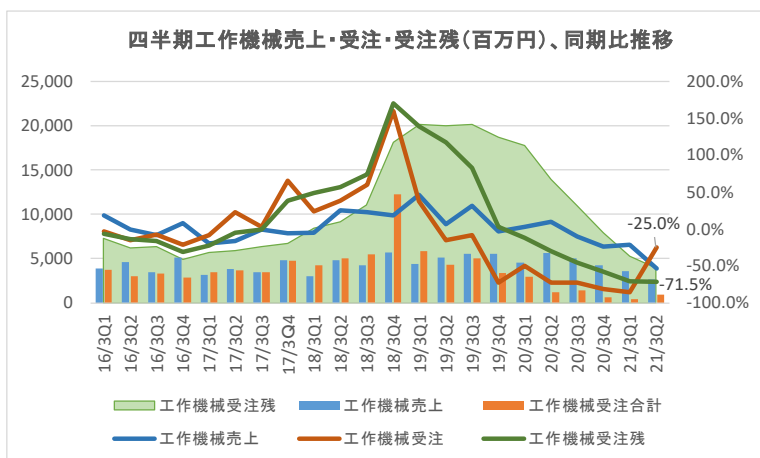
- 21/3 上期は米中摩擦、コロナ直撃で 36.4%減収 85.4%営利減、受注 68.0%減に
- Q1 での 21/3 期大幅減額予想を変更せず 43.5%減収、営業損失 7.12.億円予想
- 22/3 期にはアフタコロナとして自動車産業の自動化設備投資など期待も回復は緩やか
- 株価は大幅赤字転落で 3/23 安値 480 円に接近も

21/3 上期は米中摩擦、コロナ直撃で 36.4%減収 85.4%営利減、受注 68.0%減に

10/30 に 20/3 上期決算が開示された。21/3 上期は売上高 72.61 億円 (36.4%減) 営利 1.42 億円 (85.4%減)、経常利益 1.96 億円 (81.4%減)、税引利益 0.34 億円 (95.3%減)、受注額 (工作機械のみ) 13.07 億円 (68.0%減) となった。なお Q1 で大幅減額修正した数字通りで着地、Q2 では 49.7%減収、営業損失 0.61 億円 (6.5 億円減少)、受注 8.75 億円 (25.0%減) となった。



主力の工作機械は米中摩擦、コロナ影響から 2/3 を占める自動車設備投資向けが極寒状況で、受注は国内 9.93 億円 (58.4%減)、外需 3.13 億円 (81.6%減) と、工作機械工業会の同期受注減 34.5%減、同工業会の自動車向け受注減 54.8%減を下回る状況。売上高は前期末受注残が 78.98 億円あり、一部はコロナで前 20/3Q4 分の期ずれもあり、売上高 61.70 億円 (31.8%減) を確保 (工業会の販売額は 35.7%減)、但し大幅減収から営業利益は 0.79 億円



(90.8%減)と、Q2にはいよいよ営業赤字に(Q1が1.69億円、Q2▲0.90億円)。また受注急減で、上期受注残高は39.17億円(同期比71.5%減、前期末比49.7%減)に激減、下期以降の売上も回復出来ない事態に。

なおその他はIT関連製造装置8.7%減収30.1%営利減、自動車部品加工は29.8%減収、営業損失0.28億円と低調も全体収益に与える影響は小さい。

Q1での21/3期大幅減額予想を変更せず43.5%減収、営業損失7.12.億円予想

Q1での減額修正通りの上期業績を受け、21/3期前回会社予想を変更せず売上高123.92億円(43.5%減)、営業損失7.12億円(赤字転落)、経常損失5.36億円(赤転)、税引損失6.51億円(赤転)予想とした。基本的に工作機械受注残高が39.17億円、4ヶ月分しかなく、新規受注が大幅減少、Q2での在庫は仕掛品が前期末19.31億円から9.61億円と大幅減少する一方で、商品製品在庫は14.71億円(前期末比15.7%増、金額にして2億円増)となっており、下期の生産調整が必要な中で売上の大幅減が避けられない。しかも前期の受注単価大幅下落も影響する。主力ユーザーが自動車産業であり、トヨタ系列がメインの顧客である分は救われるが、今下期に受注しても売上は22/3期の計上となる可能性が高い。また欧米でのコロナ感染の第2波の拡大懸念もあり、世界的な自動車販売不振での設備投資抑制の動きは環境対応車を除きアフタコロナの環境下で22/3期も続くと思われる。またIT関連も今期は厳しく、自動車部品加工は赤字拡大が懸念される。このため下期は受注単価低下の影響が本格化、赤字幅の更なる拡大が懸念される。

22/3期にはアフタコロナとして自動車産業の自動化設備投資など期待も回復は緩やか

22/3期はコロナ収束を前提に、自動車産業の設備投資回復、また自動化ニーズの高まりで収益は回復しよう。但し、アフタコロナの世界で自動車販売が9600万台を回復するには2025年程度までずれ込むとの見方があり、しかも環境対応車の拡大が中心となる見通しで、稼働率が多少上向いても、22/3期営業利益は収支均衡回帰が精一杯と判断する。

株価は大幅赤字転落で3/23安値480円に接近も

株価は3/23に年初来安値480円から相場の回復とともに上昇し、7/15には700円まで戻した後、1割程度下落した状況で推移している。上期は減額会社想定並みで着地したが、Q2は営利赤字転落となっており、来期で収支均が出来れば良いという状況にある。現状、改めて欧米でコロナ感染の第2波が襲っている状況で、既存エンジン車への設備投資に慎重な動きが継続するとみられ、純資産倍率0.45倍ながら、赤字転落と配当10円継続などで倍率が上昇する見通しから、年初来安値480円に接近する場面もあり得よう。

高松機械工業(6155)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
19/3期	22,650	14.5%	2,329	45.7%	2,500	53.5%	1,708	53.0%	158.12	22.00	
20/3Q1	5,156	4.8%	378	31.3%	419	27.0%	281	26.0%	26.12	0.00	
20/3Q2	6,263	11.6%	592	-3.0%	638	-2.0%	445	-1.1%	41.24	10.00	
20/3Q3	5,716	-5.9%	426	-33.0%	487	-30.5%	340	-31.0%	31.38	0.00	
20/3Q4	4,812	-20.4%	464	-41.6%	509	-37.8%	349	-35.6%	32.02	15.00	
20/3H1	11,419	8.4%	970	8.0%	1,057	7.7%	726	7.9%	67.36	10.00	
20/3H2	10,528	-13.1%	890	-37.8%	996	-34.4%	689	-33.4%	63.40	15.00	
20/3期	21,947	-3.1%	1,860	-20.1%	2,053	-17.9%	1,415	-17.2%	130.76	25.00	
21/3Q1	4,109	-20.3%	203	-46.3%	205	-51.1%	68	-75.8%	6.28	0.00	
21/3Q2会予(8/5)	3,341	-46.7%	-67	赤転	-30	赤転	-26	赤転	-2.36	5.00	
21/3Q2	3,152	-49.7%	-61	赤転	-9	赤転	-34	赤転	-3.14	5.00	
21/3H1会予	9,553	-16.3%	601	-38.0%	617	-41.6%	432	-40.5%	39.63	7.00	
21/3H1修正会予(8/5)	7,450	-34.7%	136	-86.0%	175	-83.4%	42	-94.1%	3.92	5.00	
21/3H1	7,261	-36.4%	142	-85.4%	186	-81.4%	34	-95.3%	3.14	5.00	
21/3H2会予	8,322	-21.0%	159	-82.1%	265	-73.4%	223	-67.6%	20.44	13.00	
21/3H2修正会予(8/5)	4,942	-53.1%	-848	赤転	-711	赤転	-693	赤転	-63.64	5.00	
21/3H2修正会予(10/30)	5,131	-51.3%	-854	赤転	-732	赤転	-685	赤転	-62.86	5.00	
21/3期会予	17,875	-18.6%	760	-59.1%	882	-57.0%	655	-53.7%	60.07	20.00	
21/3期修正会予(8/5)	12,392	-43.5%	-712	赤転	-536	赤転	-651	赤転	-59.72	10.00	
21/3H2DO予	4,739	-55.0%	-992	赤転	-866	赤転	-834	赤転	-76.53	5.00	
21/3期DO予(5/15)	13,000	-40.8%	-500	赤転	-450	赤転	-450	赤転	-41.27	0.00	
21/3期DO予	12,000	-45.3%	-850	赤転	-670	赤転	-800	赤転	-73.39	10.00	
22/3期DO予	13,000	8.3%	0	-	170	黒転	120	黒転	11.01	5.00	

年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 会予	21/3期 修正会予 (8/5)	21/3期 DO予	22/3期 DO予
売上高	16,981	19,780	22,650	21,947	17,875	12,392	12,000	13,000
営業利益	938	1,599	2,329	1,860	760	-712	-850	0
経常利益	906	1,629	2,500	2,053	882	-536	-670	170
親株主帰属純利益	730	1,116	1,708	1,415	655	-651	-800	120
セグメント売上情報年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 会予	21/3期 修正会予 (8/5)	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械売上	15,196	17,721	20,557	19,358			9,900	11,000
IT	766	1,300	1,327	1,774			1,600	1,500
自動車部品	1,019	758	764	814			500	500
合計	16,981	19,780	22,650	21,947	17,875	12,392	12,000	12,500
セグメント営業利益	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 会予	21/3期 修正会予 (8/5)	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械営業利益	958	1,532	2,242	1,645			-900	0
IT	0	113	120	257			150	100
自動車部品	-20	-45	-32	-33			-100	-100
営業利益	938	1,599	2,329	1,860	760	-712	-850	0
セグメント受注	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 会予	21/3期 修正会予 (8/5)	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械受注	15,193	27,022	18,504	6,092			5,000	11,000
セグメント受注残	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 会予	21/3期 修正会予 (8/5)	21/3期 DO予	22/3期 DO予
工作機械受注残	6,709	18,157	18,727	7,898			2,998	2,998
年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 会予	21/3期 修正会予 (8/5)	21/3期 DO予	22/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
営業利益	5.5%	8.1%	10.3%	8.5%	4.3%	-5.7%	-7.1%	0.0%
経常利益	5.3%	8.2%	11.0%	9.4%	4.9%	-4.3%	-5.6%	1.3%
親株主帰属純利益	4.3%	5.6%	7.5%	6.4%	3.7%	-5.3%	-6.7%	0.9%

小型小作機械でも、自動車向け主体の同社、ミクロン精密（6159）、精密機器向けながら欧米中心のスター精密（7717）と中国中心に精密、自動車向け多いツガミ（6101）との株価推移

